

一茶ゆかりの里四季の俳句会（平成二九年十一月分）

選者 高山俳壇 高野悠子 先生

特選天 小鳥来るパズルのやうに継ぎし土器 群馬県 鈴木百合子

リスミカルで、とても楽しい一句

特選地 薪七段積み終ゆ安堵冬に入る 群馬県 田村洋子

最近こんな光景にはなかなか出会えない。
郷愁を感じさせる。

特選人 雪折れや耐へに耐へたる断末魔 群馬県 町田宏

豪雪の厳しさを力強く描写した凄みのある句

入選 一木の孤高となりし枯野原 群馬県 篠原庄治

入選 秋夜長消してはつけるテレビかな 群馬県 土屋はじめ

入選 湯めぐりや秘境の宿の牡丹鍋 群馬県 山口岩美

入選 一人居の部屋に冬日の広ごりぬ 群馬県 仙田美名代

入選 ハロウインやパンに蜂蜜たっぷりと 群馬県 加藤幹生

入選 松虫草溶岩に夕日のせまりくる 群馬県 滝沢照香

入選 薄もみじ岩に食ひ込む流れかな 筑北村 久保田満春